

◆平成28年1年間の工事事故の状況◆

◆平成28年1年間の事故の特徴◆

☆事故件数は、「71件」と過去5カ年で最も少ない発生状況。

☆死亡事故は1件発生。

☆完成工事件数に対する事故件数の割合は12%と横ばい。

☆休業4日以上労働災害が、「9件」発生。

過去5年で最小だが労働災害に対する発生率は32%と横ばい。

☆公衆災害は、地上物件損傷が増加。

◆平成29年の現場での安全な施工に向けて◆

☆例年1月～3月で20件前後の事故が発生。

⇒事故減少に向けて、更なる安全管理の徹底を！

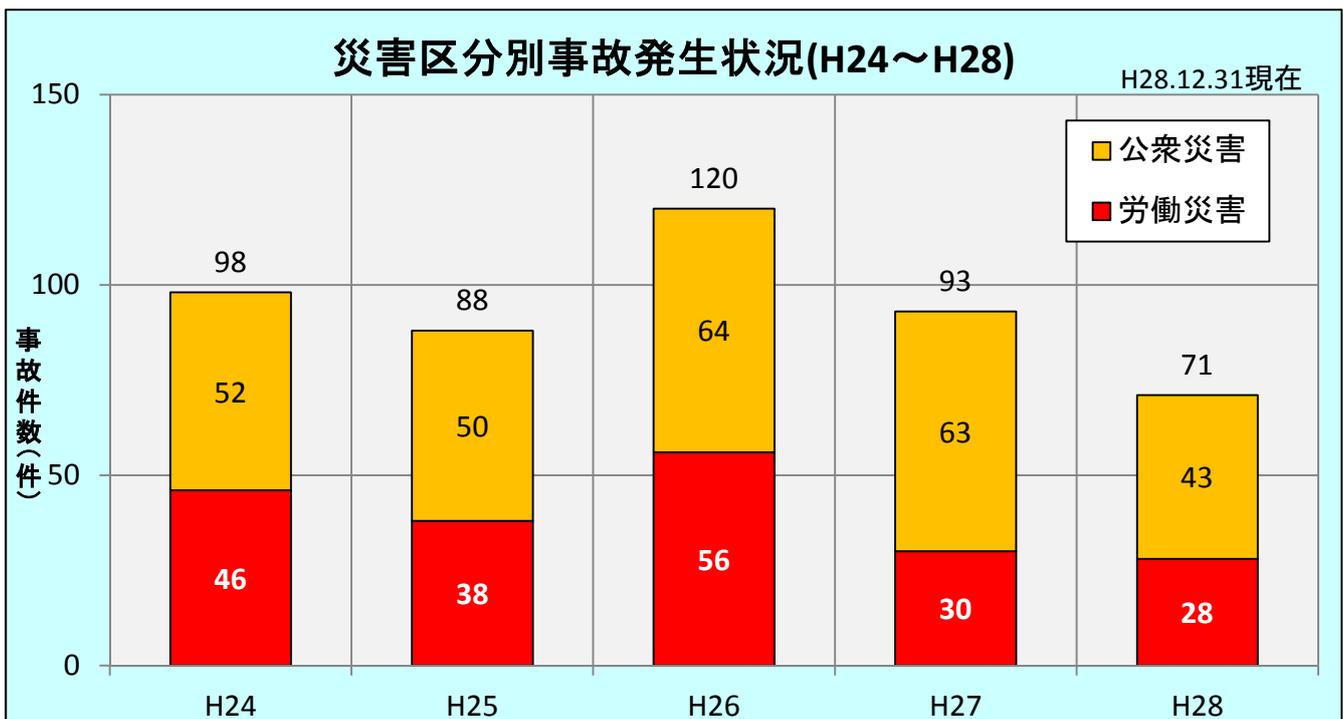
※使用している数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事を対象としています。

1. 工事事故の発生状況

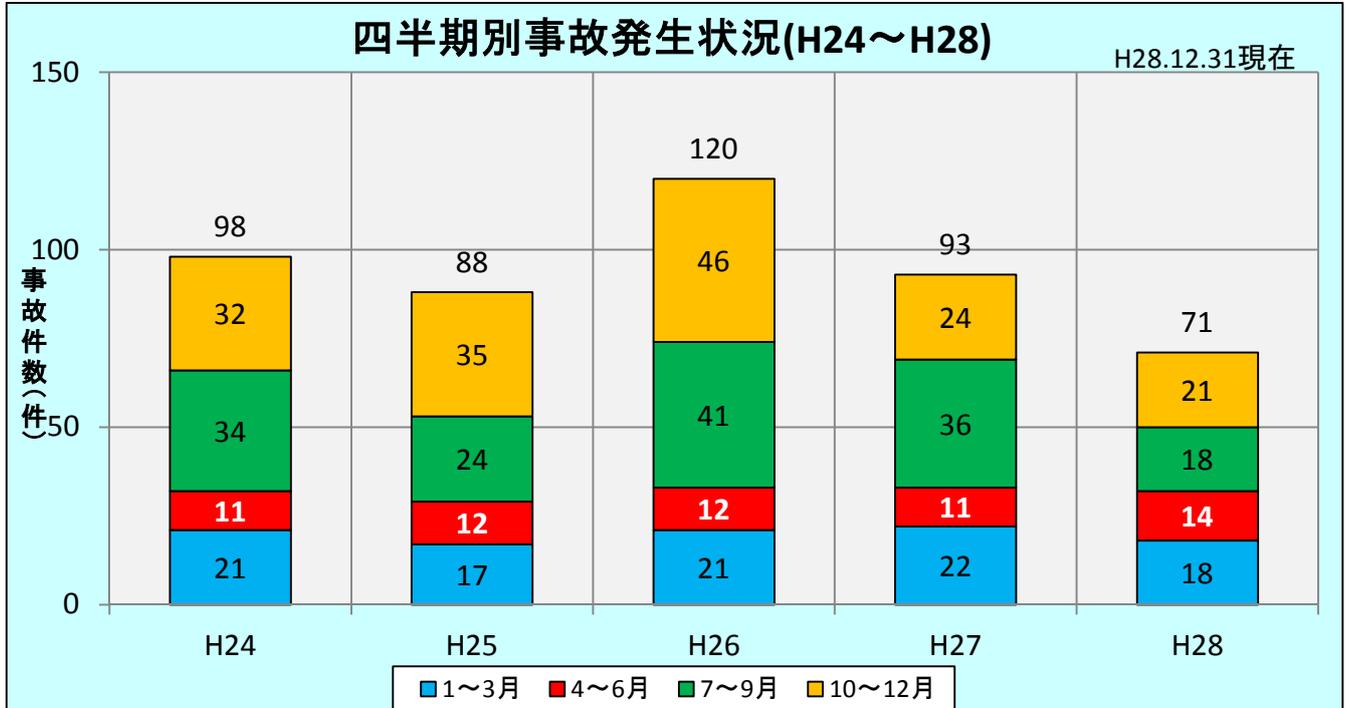
1) 各年の事故件数の推移

H28年の工事事故件数は71件と過去5カ年で最も少なくなっています。労働災害は28件、公衆災害は43件と過去5年で最も少ない発生件数となっています。



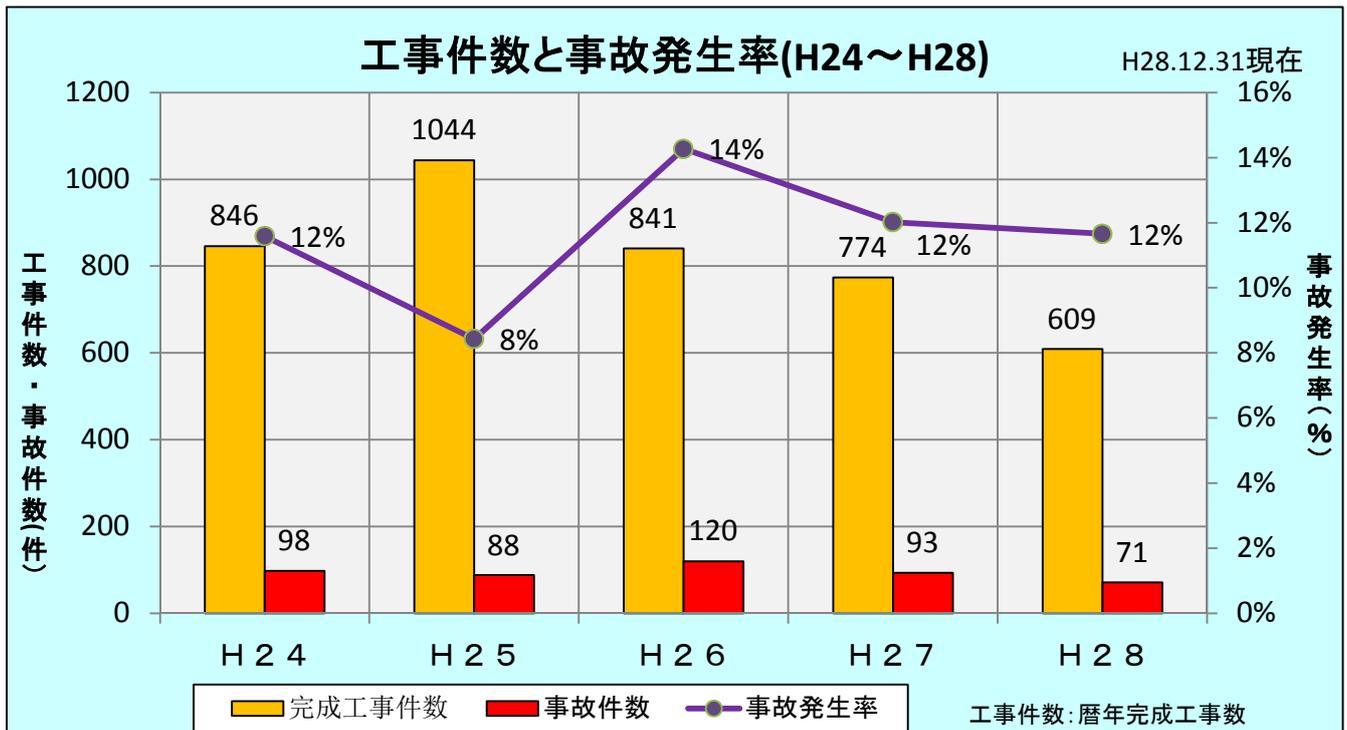
2) 四半期別の事故発生件数

四半期別事故発生件数を比較すると、H28年は4月～6月の事故が過去5年と比較しても多かったが、7月～9月、10月～12月は最も少ない発生状況です。



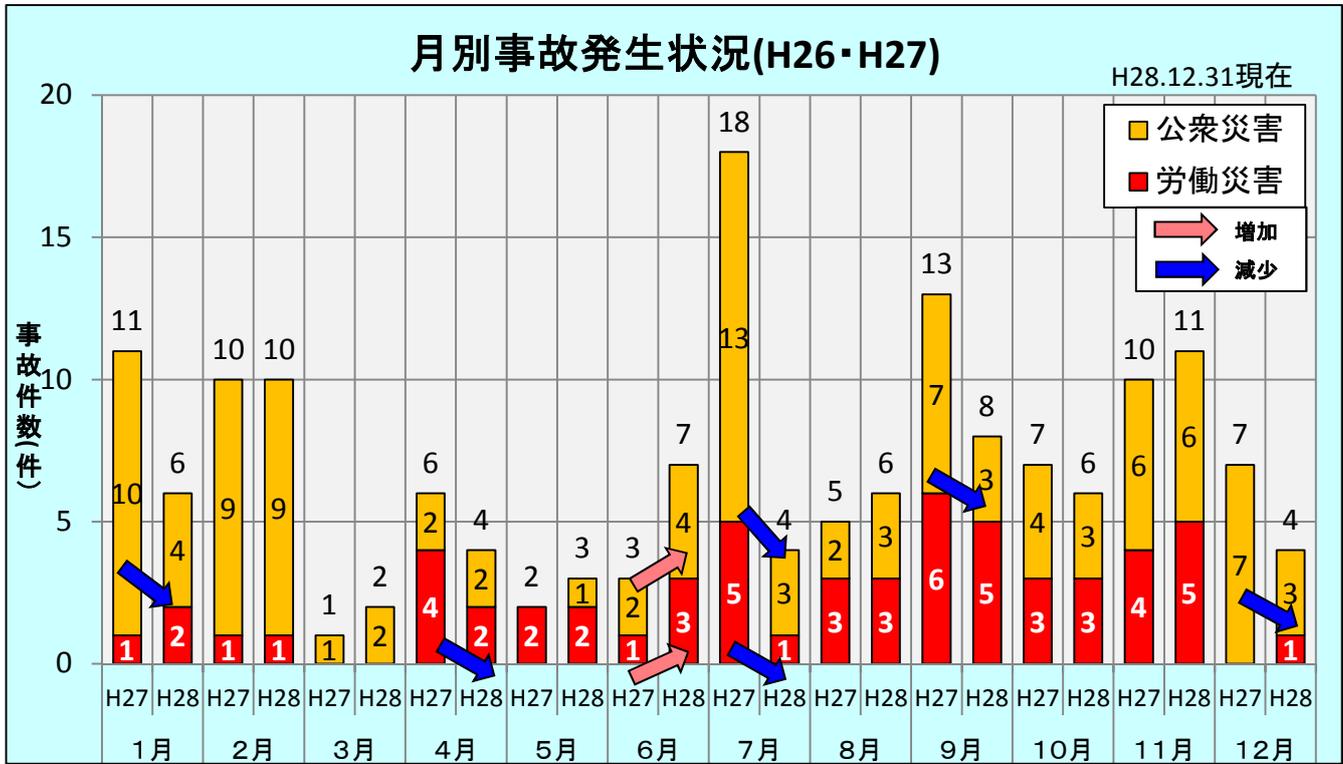
3) 各年の完成工事件数と事故発生件数

H26以降、事故件数は減少傾向です。事故発生率は12%程度と横ばいで推移しています。



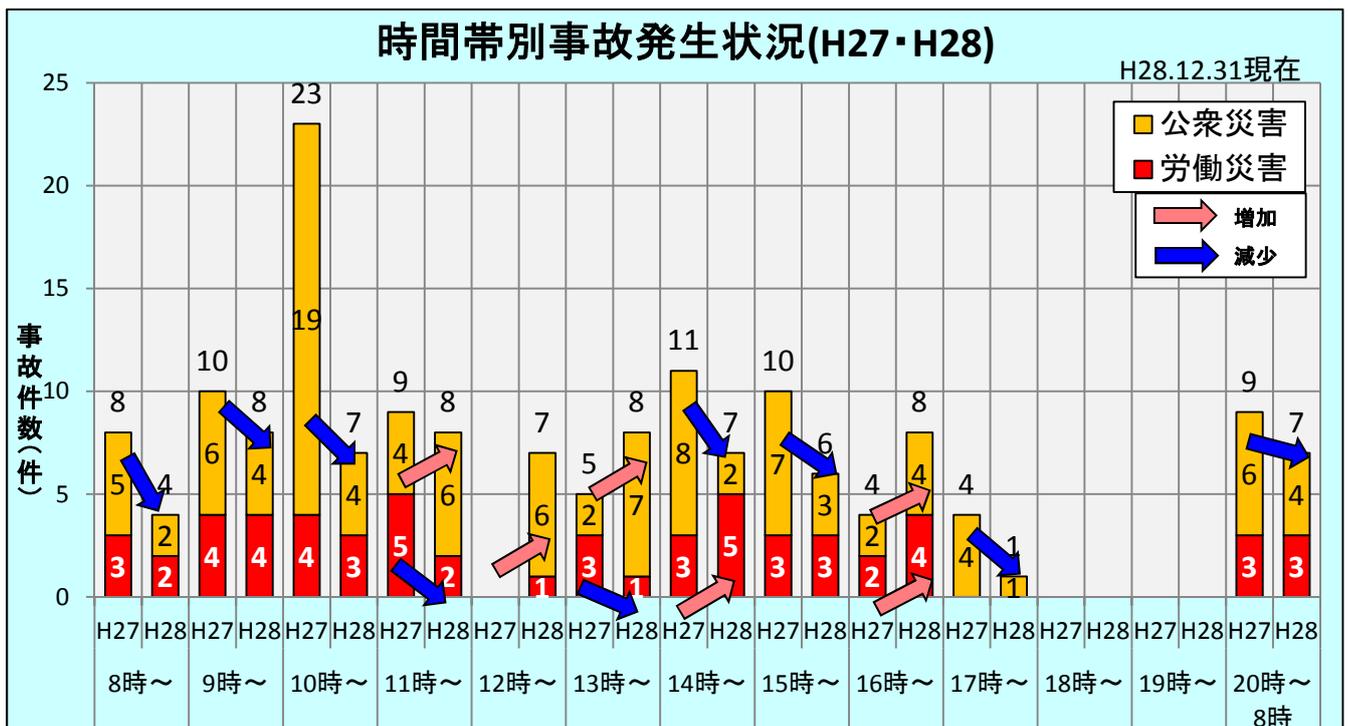
4) 月別の事故発生件数

H27とH28の月別発生状況を比較すると、労働災害は6月で増加しているものの4月、7月で減少しています。公衆災害は6月で増加しているものの、1月、7月、9月、12月で減少しています。



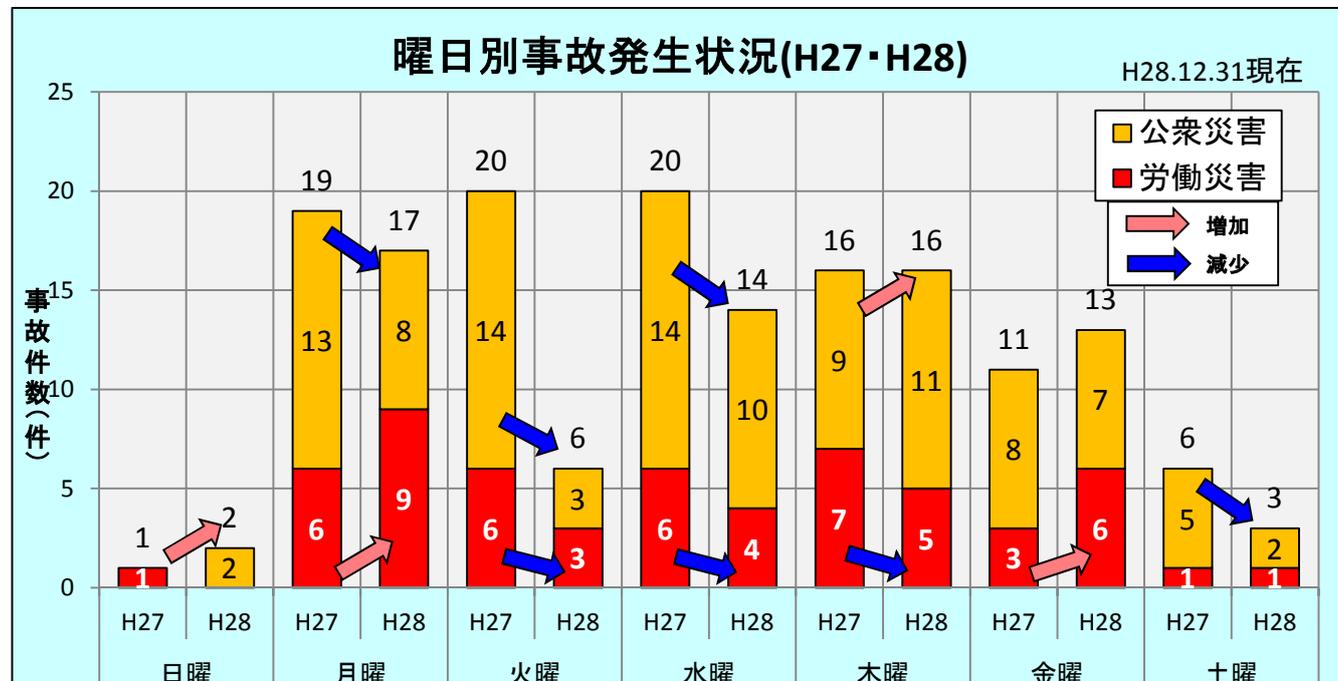
5) 時間帯別の事故発生件数

H28とH27の時間帯別事故発生件数を比較すると、労働災害は14時、16時台で増加し、公衆災害は11時～13時、16時台で増加しています。



6) 曜日別の事故発生件数

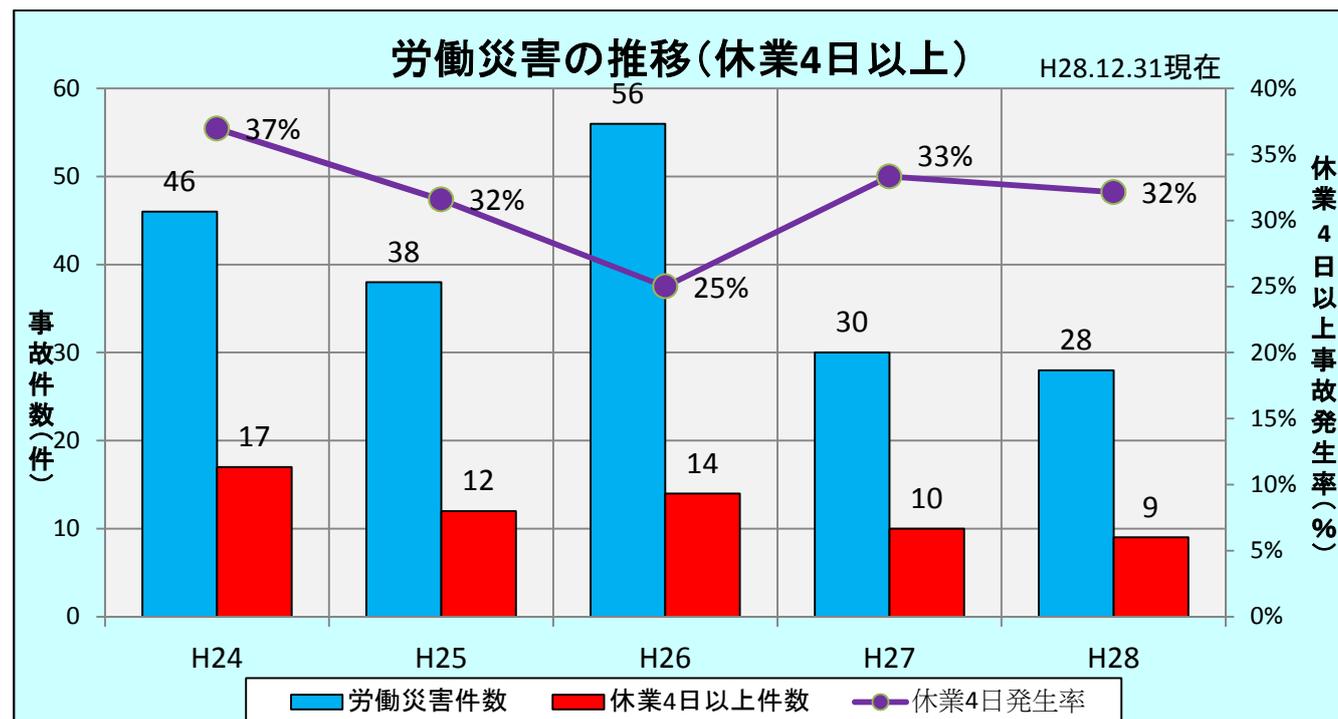
時間帯別では月曜、木曜の発生件数が多くなっています。H27とH28の時間帯別事故発生件数を比較すると、労働災害は月曜、金曜で増加し、公衆災害は日曜、木曜で増加しています。



2. 労働災害の発生状況

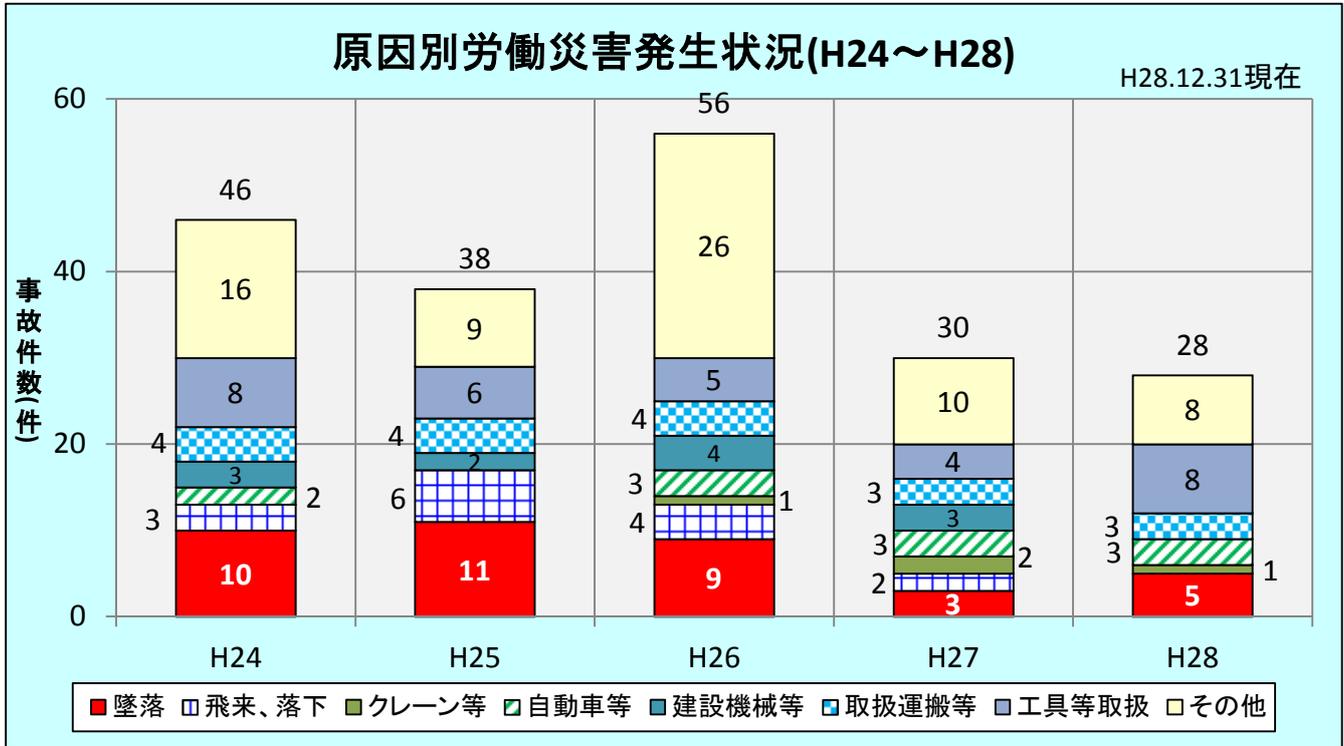
1) 休業4日以上事故発生状況

H28年の労働災害は28件、休業4日以上事故は9件発生し、過去5カ年で最も少なくなっています。また、労働災害に占める休業4日以上事故発生率は32%と横ばいで推移しています。



2) 労働災害の原因別事故発生件数

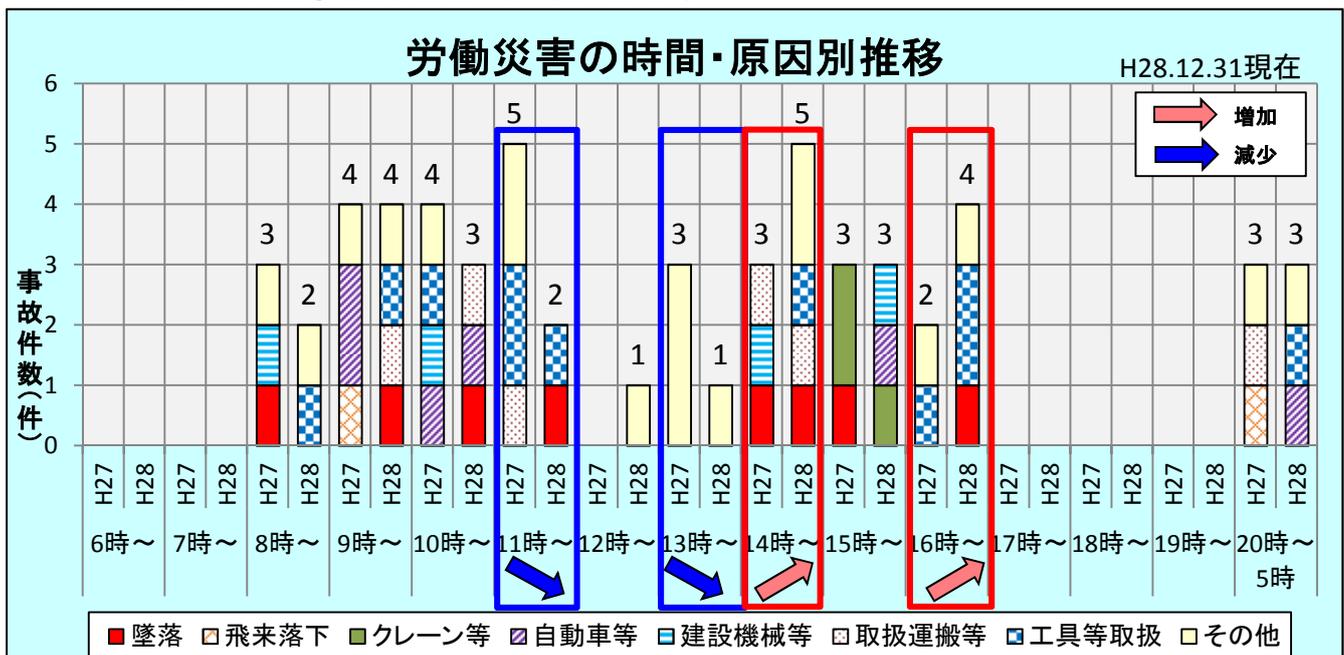
H28年の労働災害をH27年を原因別で比較すると、墜落（3件→5件）、工具取扱い（4件→8件）が増えています。



※自動車等：ダンプトラック、乗用車等による事故 建設機械等：クレーン、バックホウ等による事故 取扱運搬：荷下ろし中などでの事故
 工具取扱：ブレーカー、ドリル等の作業工具による事故 その他：倒壊、爆発、電気、その他による事故

3) 労働災害の時間帯別・原因別の詳細分析

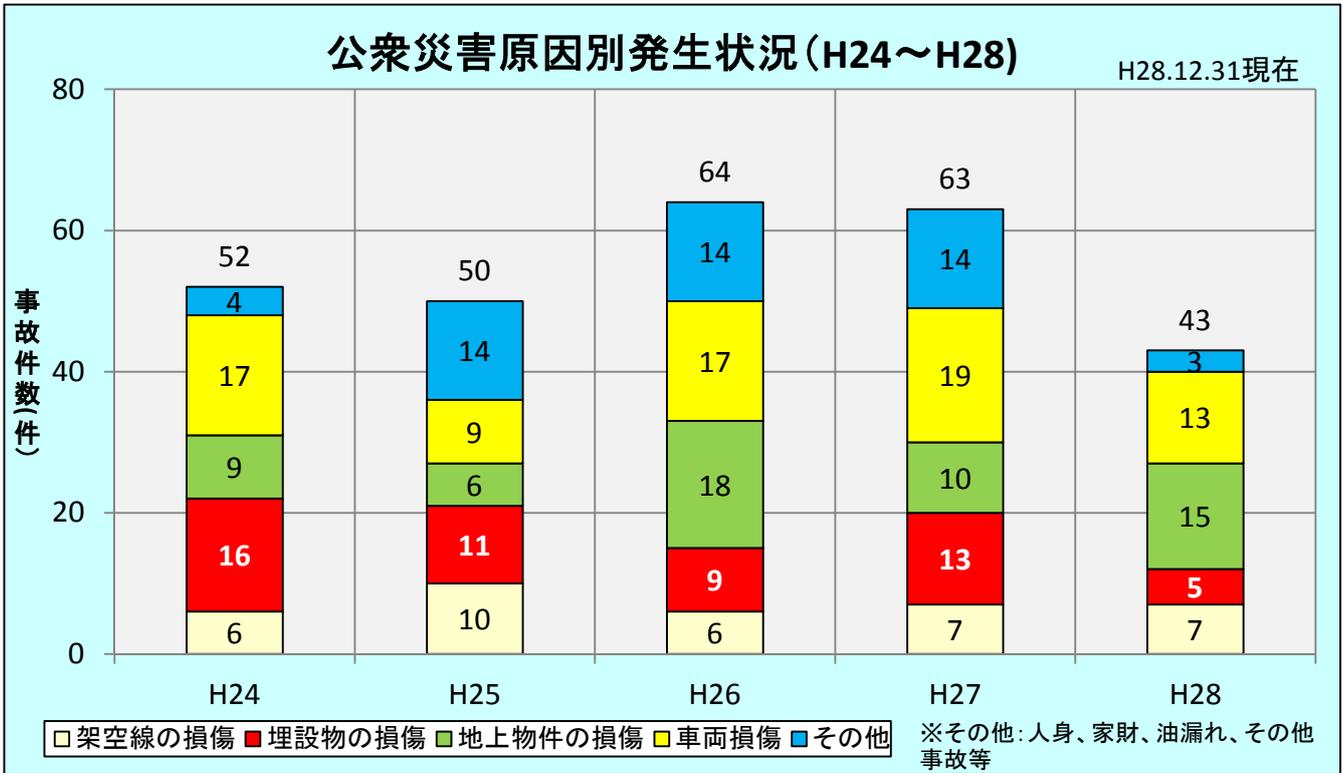
H28とH27の時間帯・原因別で比較すると、件数の増加している14時、16時台で工具取り扱い事故が増加しています。また、件数の減少している11時、13時台でその他事故が減少しています。



3. 公衆災害の原因別発生状況

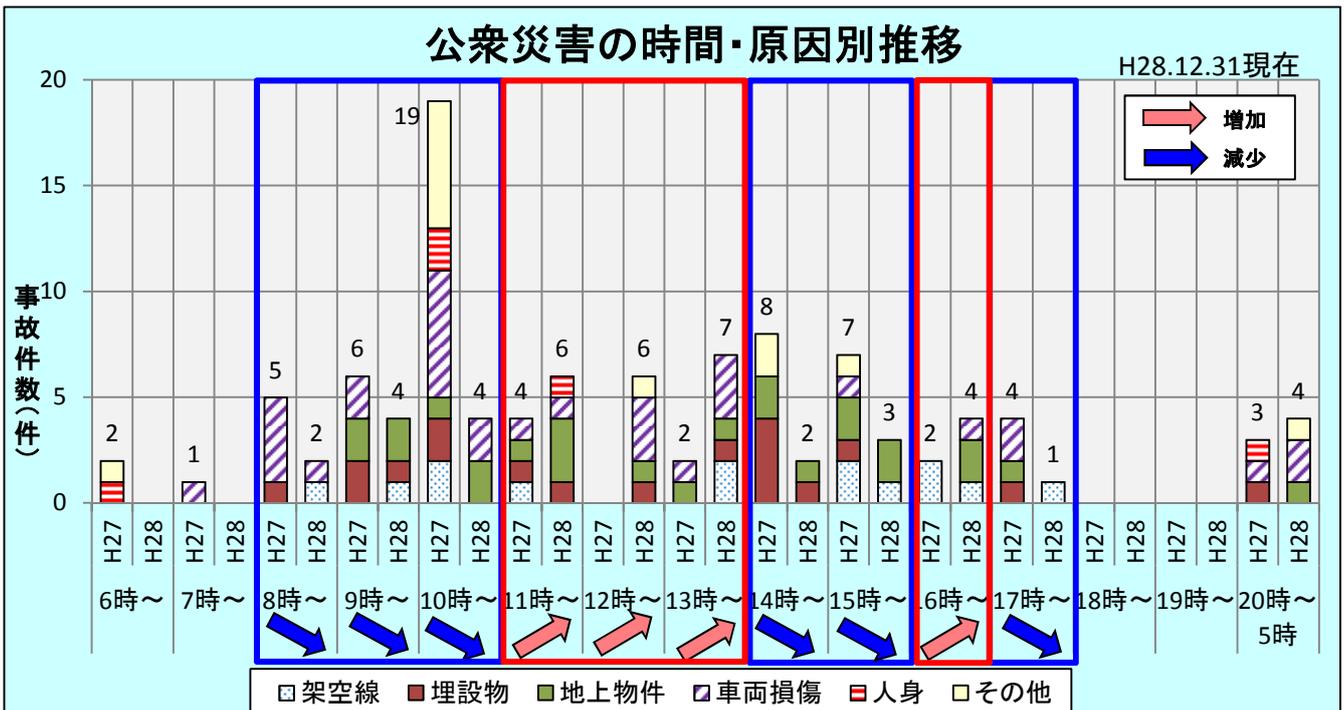
1) 公衆災害の原因別事故発生件数

H28年の公衆災害の事故発生原因では地上物件の損傷、車両損傷による事故が多く多く発生しています。埋設物、その他については減少傾向です。



2) 公衆災害の時間帯別・原因別の詳細分析

H28とH27の時間帯・原因別を比較すると、増加している11時～13時台は車両損傷事故が増加しています。また、減少している8時～10時台、14時～15時台は埋設物、車両損傷事故が減少しています。



4. その他

北陸地域の3ヶ月予報(H29.1.25新潟地方気象台)

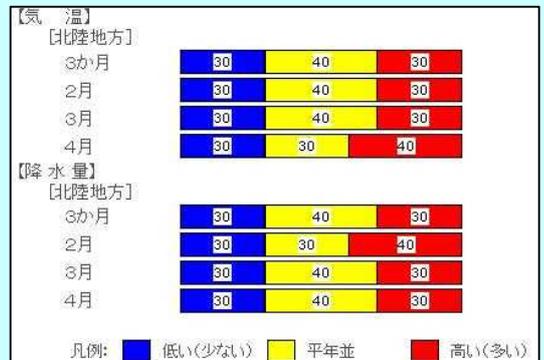
＜予想される向こう3か月の天候＞

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴ある気温、降水量等の確率は以下の通りです。

2月 平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。

3月 天気は数日の周期で変わるでしょう。

4月 天気は数日の周期で変わるでしょう。



建設工事事故データベース(SAS) への登録をお願いします。

地方整備局・都道府県・政令指定都市・機構等が発注する公共工事で発生した一定規模以上の事故の事故報告データの集合体です。収集されたデータは、建設工事事故対策検討委員会や発注者において、工事事故防止に向けた対策の検討・立案に利用しています。

・**休業4日以上**の建設工事事故について、受注者・発注者は必ずインターネットを利用して登録(入力)してください。

・「事故発生状況調書」は、技術管理課検査係で登録し、受注者への事故番号、パスワードを主任監督員へ通知します。



ホームページ: <https://sas.hrr.mlit.go.jp>

・登録対象となる事故

分類	事故の定義
労働災害	工事区域において工事関係作業が起因して、工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 資機材・工事製品輸送作業が起因して工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、 <u>休業4日以上</u> の負傷をいう。
もらい事故	工事区域において当該関係者以外の第三者が起因して工事関係者が死亡又は負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、 <u>休業4日以上</u> の負傷をいう。
負傷公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して当該工事関係者以外の第三者が死傷した事故。 なお、ここでいう第三者の負傷とは <u>休業4日以上</u> もしくはそれに相当する負傷をいう。
物損公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故にあって、第三者の死傷に繋がる可能性の高かった事故。

※ 工事区域: 工事作業現場内及び隣接区域

平成28年12月26日付で厚生労働省より、「**山岳トンネル工事の切羽における肌落ち災害防止対策に係るガイドライン**」の策定について、国土交通省に協力要請がありました。ガイドラインは厚生労働省法令等データベースサービスHPに掲載されていますのでご確認ください。

<<http://www.hourei.mhlw.go.jp/hourei/doc/tsuchi/T161227K0040.pdf>>

【問い合わせ先】 北陸地方整備局 企画部 技術検査官 金川

TEL 025-370-6702 FAX 025-280-8861